



《会計・税務の知識》『日本』の予算と借金

はじめに

4月といえば新しい年度の始まりです。日本の国政においても、4月からは26年度予算の元、様々な政策が施行されていきます。予算案の審議については、テレビや新聞等で目にする機会も多く、近年では毎年過去最高額の予算編成がなされているとニュースになっていますが、今回は国の予算と、いま日本が抱えている借金についてご紹介します。

1. 『日本』の会計期間

日本の会計期間は毎年4月から翌年3月までの1年間となっています。小中学校などの公共教育が4月から年度が始まるのも、国の会計期間にならっていることが基本的な理由です。

そのため、4月からの新年度にむけての予算審議が行われる年末年始にかけては、予算の話題がテレビや新聞に紹介される機会が多くなります。

2. 26年度一般会計予算

(単位：億円)

	25年度予算 (当初)	26年度予算	増 減	備 考
(歳入)				
税 収	430,960	500,010	69,050	○消費税率の引き上げに伴う税収増 45,330 億円を含む
そ の 他 収 入	40,535	46,313	5,778	○特別会計の一般会計への統合に伴う増 7,946 億円を含む
公 債 金	428,510	412,500	△16,010	○公債依存度 43.0%(25年度:46.3%)
年 金 特 例 公 債 金	26,110	-	△26,110	
計	926,115	958,823	32,078	
(歳出)				
国 債 金	222,415	232,702	10,287	○年金特例公債に係る償還費 3,027 億円を含む
基礎的財政収支対象経費	703,700	726,121	22,421	○特別会計の一般会計への統合に伴う増 15,836 億円を含む
計	926,115	958,823	32,708	

財務省：『日本の財政関係資料H26.2』から抜粋したものを筆者が加工作成している

3. 多すぎる「国の借金」

国の収入(歳入)のうち、借金(公債)の割合がどの程度あるのかを「公債依存度」といいます。上記にもある通り、25年度の公債依存度46.3%に比べ、26年度予算では公債依存度が43.0%と減少しています。この部分だけ切り取って考えると収入のうち税金でまかなえている部分が増えていることがわかります。実際に、公債依存度が48.0%となった22年度から毎年、公債依存度は減少しています。

しかし、日本の公債残高は、25年末でおよそ850兆円にのぼり、これに、借入金や政府短期証券をあわせた、いわゆる『国の借金』は、およそ1,018兆円となりました。仮に日本国民が1億3千万人いるとした場合に一人あたりの借金はおよそ780万円になります。

おわりに

先に紹介したように、「国の借金」を国民一人あたりに換算する方法を不快に思う方も少なくないのではないかと思います。生まれたての子供に何百万も借金を背負わせたところで意味はありません。しかし、私たちが将来的に返さなければならないお金がいくらあるのか、ということくらいはきちんと知っておきたいものです。

(担当：岩崎)